

平成24年度 「各部局における男女共同参画の取り組み」に関する調査

本学では、男女共同参画に関する学長宣言の下、教職員と学生等が「教育・研究・就労・修学」活動と「家事・出産・育児・介護、地域の諸活動」との両立（ワークライフバランス）が可能となるよう、環境整備や各種支援策の積極的な推進を行っている。

本アンケートはその状況調査のひとつであり、昨年度に引き続き実施することで、進捗状況を把握し、課題と更なる方策への検討に役立てる目的である。以下に、その結果の概要を報告する。

1. 実施期間・解答部局等

実施期間：平成25年1月13日～1月25日

対象部局等：全18部局

回答を得た部局等：18部局

2. 仕事を効率化するための取り組み

仕事の効率化のために何らかの取り組みを行っているとは回答した部局は、13部局で昨年度より2部局増えた。具体的な取り組みで昨年度から回答が多かった「コンピューターの利活用」に加え、今年度は「業務改善・分担の平準化」、「スケジュール管理と情報共有、コミュニケーションの活発化」の取り組み強化を挙げ、仕事の効率化に務める部局が増えた。ハード面には限界があり、ソフト面の改善の傾向にあることがうかがえる。

3. 各種会議等の勤務時間内開催への取り組み

① 開催時間について

全ての会議等が「勤務時間内」開催の部局は、11部局で昨年度より4部局増え、「時間内と時間外」の混合開催は、7部局で昨年度より2部局減っている上、混合開催の部局でも、原則的には勤務時間内開催に務めている部局が主である。

なお、すべての会議等が「勤務時間外」開催の部局はなかった。

② 勤務時間外開催を避けるための工夫

回答を寄せた8部局が昨年度と同様に「事前の都合調べ」、「年間スケジュールへの組み込み」を挙げ、新たな取り組み策の回答はなかった。勤務時間外開催を避けるために、部局の事情を勘案し努力をしており、少なからず時間内開催部局は増えている。しかし、殆どは決定的な解決策がなく苦慮していることがうかがえる。

4. 会議の終了予定時刻の明示

会議の開催通知に終了予定時刻を明記している部局は昨年度から2部局増え5部局となったが、全体的には少ない。

5. 男女共同参画に向けた取り組み

7 部局(昨年度と同数)から回答があり、「教員公募での工夫」、「業務運営上の協力体制の工夫」を挙げ努力していることがうかがえる。他 11 部局では「特になし、無回答」であった。

6. 今年度のアンケートでは、18 部局のうち 14 部局の部局長からご意見をいただいた。現在の男女共同参画推進への具体的な取り組みを伝えていただいたとともに、今後の取り組みについて記載いただいた。部局単位で対応できること、弘前大学が対応すべきことの貴重なご意見であった。内容を要約し類似したものまとめ、以下に示した。

- ① 男女共同参画推進に積極的に関わる。(4 件)
- ② 業務分担を明確にし、仕事を効率化する取組み。(2 件)
- ③ 核となる女性リーダーの育成と活動の普及。(2 件)
- ④ 女性側の昇進に対する姿勢・意識向上。(2 件)
- ⑤ 全ての職員に対する(男女ともに)ワーク・ライフ・バランスの考慮。(2 件)
- ⑥ 性別にとらわれない職員採用。
- ⑦ 全ての職員に対する(男女ともに)労働環境の改善。
- ⑧ 雇用の形態の多様化。

お忙しいなか、ご回答いただきました部局長の皆さまに感謝申し上げます。